

別紙「施設・配置計画（案）の比較検討について」（1/2）

	施設・配置の考え方	配置イメージ
A 案	基本構想で示した配置イメージをもとに、アリーナとプールの大空間の諸室を同一階（2階）に配置し、その他のスポーツ諸室・点字図書室を1階に配置した案。	
B 案	A案をもとに、点字図書室、会議室を別棟に配置した案。	
C 案	アリーナを2階、プールを1階に大空間の諸室を別階に配置した案。	

別紙「施設・配置計画（案）の比較検討について」（2/2）

		A案	B案	C案
利用者等の意見		◎ [アーチェリー競技者の意見] 射場の後方に荷物を置ける待合スペースについて、他の案は並列であり、縦列である方が競技しやすい。	◎ [音訳ボランティアの意見] 防音・防振を考慮すると別棟を望む声が複数ある。	◎ [点訳ボランティアの意見] - 点字図書室と会議室の同じフロアを望む。 [長居SC利用者の意見] - アリーナとサブアリーナの併設を望む。 - アリーナとプールは利用者が多い施設であり、混雑回避の観点から別フロアがよい。 - 長居公園でランニングをすることがあり、1階に更衣兼シャワー室がある方がよい。
定性的・定量的な評価	複合化による活動等の広がり	◎ 一棟によりスポーツ・文化活動への広がりが期待できる	○ 別棟となることで、利用者間の交流が図られにくい	◎ A案と同じ
	避難のしやすさ	◎ 車いすで屋内・外にスロープでの二方向避難が可能	△ 別棟の屋内外にスロープを設置することが難しい	◎ A案と同じ
	建築面積	5,350㎡	5,730㎡	5,100㎡
	延床面積	12,930㎡	14,360㎡	12,990㎡
	うち諸室部分の面積	8,940㎡	A案と同じ	A案と同じ
	うち屋内駐車場の面積	380㎡	1,470㎡	700㎡
	うち通路等の共用部分面積	3,610㎡	3,950㎡	3,350㎡
	整備費 (設計・施工費)	○ 99億円	△ 108億円 (延床・外壁面積に連動して整備費が高い)	◎ 98億円
	維持管理費 (光熱水費・保守費等)	○ 125百万円／年	△ 134百万円／年 (共用部が広いことに連動して光熱費等が高い)	◎ 124百万円／年
	80年間のライフサイクルコスト総額	○ 388億円	△ 417億円	◎ 386億円
	緑地面積の確保	○ 2,300㎡	△ 2,100㎡	◎ 2,400㎡
総合判定				◎

- 利用者のニーズとともに、定量・定性的な評価から、C案を施設・配置計画として選定する
- A案であったアーチェリー場、B案であった防音・防振対策への意見などについても、C案の中で一部配置等の見直しにより対応する